



ホストを設定

SnapManager for Hyper-V

NetApp
October 04, 2023

目次

ホストを設定	1
Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを追加する場合の要件	1
Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを追加	3
ストレージ接続の設定を管理します	3
Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを表示する	4
仮想マシンを表示します	4
Hyper-Vの処理に使用するSnapManager用のHyper-V仮想マシンを移行する	4
ホストとデータセットの設定情報をインポートまたはエクスポートします	4
Hyper-V親ホストまたは親ホストクラスタを削除	5
イベント通知設定	5
レポートパスの設定	6

ホストを設定

Hyper-V親ホストまたはクラスタの追加、表示、削除には、SnapManager for Hyper-Vを使用します

Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを追加する場合の要件

SnapManager for Hyper-Vに親ホストまたはホストクラスタを追加する前に、必要な設定情報がすべて揃っている必要があります

SnapManager for Hyper-Vのインストール

追加するHyper-VホストにSnapManager for Hyper-Vがインストールされている必要があります。

Hyper-V用のSnapManager がインストールされていない場合は、リモートホストインストールウィザードを実行するように求められます。各クラスタノードには、同じバージョンのHyper-V用SnapManager をインストールする必要があります。

構成設定

追加するHyper-V親ホストがHyper-VのSnapManager 用に設定されている必要があります

SnapManager for Hyper-Vに対してSnapInfoの設定、レポートディレクトリの設定、通知の設定が行われていない場合は、ホストの追加後に設定ウィザードを使用して設定できます。

最初は、[ストレージ接続の管理]タブが空です。ストレージ接続は、「*ストレージ接続の管理」タブから追加できますが、新しく追加した接続は、SnapDrive for Windows (SDW) のトランスポートプロトコル設定 (TPS) で確認できます。

SnapManager for Hyper-Vを使用して仮想マシンを追加および管理するには、バックアップリポジトリとレポートディレクトリを設定する必要があります通知設定はオプションです。

仮想マシンとONTAP LUN

構成ファイル、Snapshotコピーのファイルの場所、VHDなど、仮想マシンに関連付けられたすべてのファイルは、ONTAP LUN上に存在する必要があります。

この手順は、バックアップを正常に実行するために必要です。



仮想マシンの作成後に仮想マシンのSnapshotファイルの場所を別のONTAP LUNに変更した場合は、Hyper-Vマネージャを使用して仮想マシンのSnapshotコピーを少なくとも1つ作成してから、SnapManager for Hyper-Vを使用してバックアップを作成してくださいSnapshotコピーファイルの場所を変更した場合、バックアップを作成する前に仮想マシンのSnapshotコピーを作成しないと、バックアップ処理が失敗することがあります。

専用およびクラスタ化された仮想マシン

仮想マシンは、専用またはクラスタの一部として使用できます。

ホストを1つ追加すると、そのホストの専用仮想マシンはSnapManager for Hyper-Vによって管理されます。ホストクラスタを追加すると、SnapManager for Hyper-Vはホストクラスタ上の共有仮想マシンを管理します。SANおよびNAS上の同じホストクラスタに属する仮想マシンは、同じデータセット内に存在しないようにする必要があります。これらのタイプ原因のリソースを単一のデータセットに追加すると、データセットのバックアップが失敗する可能性があります。

アプリケーションと整合性のあるバックアップでは、クラスタ化された仮想マシンをクラスタの別のノードで実行する場合、クラスタ化された仮想マシンのデータセットバックアップの完了に時間がかかります。仮想マシンを異なるノード上で実行する場合は、クラスタ内のノードごとに個別のバックアップ処理が必要です。すべての仮想マシンを同じノードで実行する場合は、バックアップ処理が1回だけで済み、バックアップにかかる時間が短縮されます。

仮想マシンの数

Hyper-Vホストまたはホストクラスタに1,000台を超える仮想マシンがある場合は、Hyper-Vキャッシュマネージャ用のSnapMgrServiceHost.exe.configファイル内のScavengingプロパティの前に、Cache内の最大エレメント数の値を増やす必要があります。この値は、スタンドアロンのホストまたはクラスタで実行されているHyper-Vホストの数以上にする必要があります。クラスタの各ノードの値を変更してから、この値を変更したあとにSnapManager for Hyper-Vサービスを再起動する必要があります。テキストエディタを使用して'SnapMgrServiceHost.exe.config'ファイルを手動で編集する必要があります

```
<cacheManagers>
...
    <add name="HyperV Cache Manager"

type="Microsoft.Practices.EnterpriseLibrary.Caching.CacheManager,
        Microsoft.Practices.EnterpriseLibrary.Caching"
    expirationPollFrequencyInSeconds="60"
    maximumElementsInCacheBeforeScavenging="1200"
    numberToRemoveWhenScavenging="10"
    backingStoreName="inMemory" />
...
</cacheManagers>
```

SnapManager for Hyper-Vのサービスアカウントの要件

SnapManager for Hyper-Vを使用してHyper-Vホストクラスタを管理する場合、Hyper-VおよびSnapDrive for WindowsのサービスアカウントのSnapManagerは、サーバに対するローカル管理者権限を持つドメインユーザアカウントである必要があります。

SnapManager for Hyper-Vアプリケーションと整合性のあるバックアップは、仮想マシンが実行されているクラスタノードで実行されます。仮想マシンが使用するクラスタ共有ボリューム（CSV）が同じノードに所有されていないと、SnapManager for Hyper-Vサービスがローカルシステムアカウントを使用している場合（アカウントに管理者権限がある場合でも）仮想マシンのバックアップが失敗することがあります。この場合、SnapManager for Hyper-Vは、仮想マシンファイルがCSV上にあることを検出できないため、バックアップは失敗します。



clustered Data ONTAP のSMB 3.0の継続的可用性 (CA) 共有に格納された仮想マシンを使用したりリモートのVolume Shadow Copy Service (VSS; ボリュームシャドウコピーサービス) 処理が正常に機能するためには、SnapDrive for Windowsサービスアカウントには、共有に対するフルコントロール権限を付与し、SnapManager for Hyper-V Webサービスアカウントへの最小限の読み取りレベルアクセスを付与する必要があります。

- 関連情報 *

"Microsoft TechNet : 「Hyper-V」 "

Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを追加

Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを追加して、仮想マシンのバックアップとリストアを行うことができます。

手順

1. ナビゲーションペインで、*保護*をクリックします。
2. アクションペインで、*ホストの追加*をクリックします。
3. ホストの追加ウィザードを実行します。

完了後

ホストをクラスタに追加しても、新しいホストに関する情報はGUIに自動的に表示されません。インストールディレクトリのXMLファイルにホスト情報を手動で追加します。

SnapManager for Hyper-Vが各クラスタノードにインストールされている必要があります。Hyper-V用のSnapManager がインストールされていない場合は、リモートホストインストールウィザードを実行するように求められます。

ストレージ接続の設定を管理します

ホストを追加したら、メニューから「ストレージ接続の管理」を使用するためのすべてのストレージ接続 (Windowsの場合はSnapDrive、Hyper-Vの場合はSnapManager) を入力する必要があります。保護[データセットの管理]。

必要なもの

ストレージ接続の設定を管理するには、少なくとも1つのホストをHyper-VのSnapManager に追加しておく必要があります。

手順

1. [データセット管理]メニューから[ストレージ接続の管理]を選択します。
2. ストレージ接続を追加します。

すべてのストレージ接続は、SnapDrive for Windows TPSで表示できます。

Hyper-V親ホストまたはホストクラスタを表示する

特定のHyper-V親ホストまたはホストクラスタに関する設定情報を表示して、ステータスを監視することができます。

手順

1. ナビゲーションペインで、[Menu](メニュー)、[Hosts](ホスト保護)の順にクリックします。
2. 表示するホストまたはホストクラスタを選択します。

[Details]ペインには、ホストまたはホストクラスタ名、ドメイン、クラスタメンバー（該当する場合）、およびコンフィギュレーションメッセージが表示されます。構成されていないホストを選択すると、[Details]ペインに設定されていないホストに関する情報が表示されます。

仮想マシンを表示します

仮想マシンの[詳細]ペインの[仮想マシン]タブおよび[VHD]タブでは、そのマシンに関する情報を表示し、そのマシンのステータスを監視できます。

手順

1. ナビゲーションペインで、[メニュー:保護[ホスト]>[保護]>[データセット]の順にクリックします。
2. 仮想マシンが属するデータセットまたはホストを選択します。
3. 適切な仮想マシンを選択します。

結果

[仮想マシン]タブには、選択した仮想マシンの名前、GUID、および状態が表示されます。

VHDタブには、システムディスク、マウントポイント、VHDのフルパス、LUNパス、ストレージシステム名、選択した仮想マシンに関連付けられているシリアル番号とボリューム名。

Hyper-Vの処理に使用するSnapManager用のHyper-V仮想マシンを移行する

SnapManager for Hyper-Vには、SnapManager for Hyper-Vで使用できるように、ONTAP以外のストレージからONTAPストレージに仮想マシン（VM）を移行するための移行ウィザードはありません代わりに、Server Managerを使用してVMを手動でエクスポートおよびインポートする必要があります。

ホストとデータセットの設定情報をインポートまたはエクスポートします

ホストを管理する管理コンソールは1つに限定する必要がありますが、複数のコンソールから管理する必要がある場合は、ホストおよびデータセットの構成情報を1つのリモート管理コンソールから別のリモート管理コンソールにインポートしてエクスポートするこ

とで、データの整合性を確保できます。

このタスクについて

SnapManager for Hyper-Vがインストールされているディレクトリには、設定情報をインポートしたりエクスポートしたりしないでください。SnapManager for Hyper-Vをアンインストールすると、このファイルは失われます。



インポートとエクスポートウィザードを使用して、ホストとデータセットの設定を以前にエクスポートした設定に変更することができます。クラスタ環境でこの処理を実行する場合は、クラスタ内のすべてのノードで設定をインポートして、すべてのホストとデータセットの構成が同じになるようにする必要があります。

手順

1. ナビゲーションペインで、*保護*をクリックします。
2. [アクション (* Actions)]パネルで、[*インポートおよびエクスポート (* Import and export *)]をインポートとエクスポートウィザードが表示されます。
3. ウィザードの手順に従って、ホストとデータセットの構成情報のある管理コンソールから別の管理コンソールにエクスポートします。



エクスポートファイルは、そのエクスポートファイルが実行された時点でのみ静的で最新のものであります。

4. ウィザードの手順に従って、ホストとデータセットの設定情報をデスティネーション管理コンソールにインポートします。

Hyper-V親ホストまたは親ホストクラスタを削除

Hyper-V親ホストまたは親ホストクラスタがHyper-VでSnapManager を使用して管理する必要がなくなった場合は、そのホストクラスタを削除することができます

手順

1. ナビゲーションペインで、[Menu](メニュー)、[Hosts](ホスト保護)の順にクリックします。
2. 削除するホストまたはホストクラスタを選択します。
3. [アクション (* Actions)]パネルで、[*削除 (Remove)]をクリックします

[Delete all VM backups]を選択すると、ホストに関連付けられた仮想マシンのバックアップを削除できません。

Hyper-Vの管理のためにHyper-Vの親ホストまたはホストクラスタがSnapManager から削除されることはありますが、完全には削除されません。そのホストまたはホストクラスタに属する仮想マシンも、それらが属していたすべてのデータセットから削除されます。

イベント通知設定

イベントが発生した場合にEメール、syslog、およびAutoSupport メッセージを送信する

ようにイベント通知を設定できます。

Hyper-V親ホストをSnapManager for Hyper-Vに追加したときにイベント通知設定が設定されていない場合は、あとで設定ウィザードを使用して設定できます。

イベント通知の設定は、Hyper-V用にSnapManager にホストを追加したあとでも、設定ウィザードを使用して変更できます

データセットに仮想マシンリソースを追加する前に、イベント通知を設定できます。

E メール通知を設定

通知の複数のEメール受信者は、カンマで区切る必要があります。

SnapManager for Hyper-VでEメール通知の受信者を複数設定する場合は、各受信者をカンマで区切ります。この要件は、SnapManager for SQLとは異なります。SQLでは、各Eメール通知の受信者をセミコロンで区切る必要があります。

レポートパスの設定

SnapManager for Hyper-Vの処理に関するレポートを格納できるように、レポートパスを設定することができます。データセットに仮想マシンリソースを追加する前に、レポートパスを設定する必要があります。

Hyper-V親ホストをSnapManager for Hyper-Vに追加したときにレポート設定が行われない場合は、あとから設定ウィザードを使用して設定（および変更）できます。

親ホストクラスタのレポートパスを設定する場合は、各クラスタノードにレポートディレクトリを手動で作成する必要があります。レポートパスを、Cluster Shared Volume（CSV；クラスタ共有ボリューム）または共有LUNに配置することはできません。

- 関連情報 *

["Microsoft TechNet：「フェールオーバークラスタでクラスタの共有ボリュームを使用する」](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。